

伝えよう 知ってもらおう 岐阜国道

平成26年 8月18日
国土交通省中部地方整備局
岐阜国道事務所岐阜国道建設発生土処理対策委員会結果報告
～北野トンネル（仮称）の掘削ずりについて検討～

1. 概要

岐阜国道事務所で実施している東海環状自動車道の西回り区間の「北野トンネル（仮称）」（延長602m）のトンネル掘削ずりに対する試験方法、仮置き方法、処理方法を検討することを目的に、中部地方整備局岐阜県内建設発生土処理対策委員会（平成26年度第1回岐阜国道東海環状案件）を8月1日に開催しましたので、以下検討内容について報告します。

2. 委員会名簿（※五十音順）

所	属	氏名
岐阜大学	工学部	小嶋 智 教授
岐阜大学	工学部	佐藤 健 教授
岐阜大学	総合情報メディアセンター	篠田 成郎 教授
地中熱&地下水資源活用NET		寺尾 宏 理事
岐阜薬科大学	薬学部	永瀬 久光 教授

3. 委員会の報告及び検討結果

調査試験方針、仮置き方法、処理方法については、別添のとおり検討内容を委員会において報告し、確認されました。

4. 資料 別紙

5. 解禁 指定なし

6. 配布先 岐阜県政記者クラブ

7. 問合せ先 岐阜国道事務所 副所長 お ば た と し ゆ き 小幡 敏幸
岐阜国道事務所 工務課長 と う の た つ や 東野 竜哉

Tel. 058-271-9811（代表） Fax. 058-271-3175（代表）

※同様の内容は右記HP
「記者発表一覧」でご覧
いただけます

岐阜国道事務所 岐阜市茜部本郷1-36-1
HPぎふこくナビ <http://www.cbr.mlit.go.jp/gifu/>

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

中部地方整備局岐阜県内建設発生土処理対策委員会確認事項

【重金属、酸性土の調査試験方針】

- 重金属（8項目）については、公定法を基本とする。
（迅速法も実施し、相関関係を検討する。）
- 酸性化可能性試験を実施する。（酸性水のリスクを評価）
- 10m毎 2mピッチ（5点混合） 1,000m³に1検体を継続して行う。
（珪質泥岩、チャート全区間）
- 切羽を観察し、先進ボーリング結果と明らかに異なる場合は、一時仮置きし追加試験を実地する。
- 2回目以降の先進ボーリング時においても計測ピッチを定め、湧水量を測定する。

【仮置き方法について】

- 普通土と要対策土を混合しないように留意する。
- 地下への浸透防止としてアスファルト舗装、周囲をコンクリート製の土留壁で囲う。
- 養生シート（ポリエチレン製）＋土のう等により風や雨による要対策土の飛散・拡散を防止する。
- 仮置きヤードの集水箇所では、柵を設置し、正確なモニタリングができるよう留意する。
- 坑内湧水及び仮置きヤードについての原水は、各々測定（月1回）するものとし、各々が合流する排水流末については、排水基準（岐阜県公害防止条例の上乗せ基準も考慮）18項目について月1回の測定を行う。
- 仮置き期間は、極力短期間とするよう留意する。（目安 1ヶ月以内）

【処理方法について】

- 浄化施設等（再資源化）への場外搬出で対応する。
- 浄化施設へ立ち入りするなどチェック体制の強化も行う。

以 上